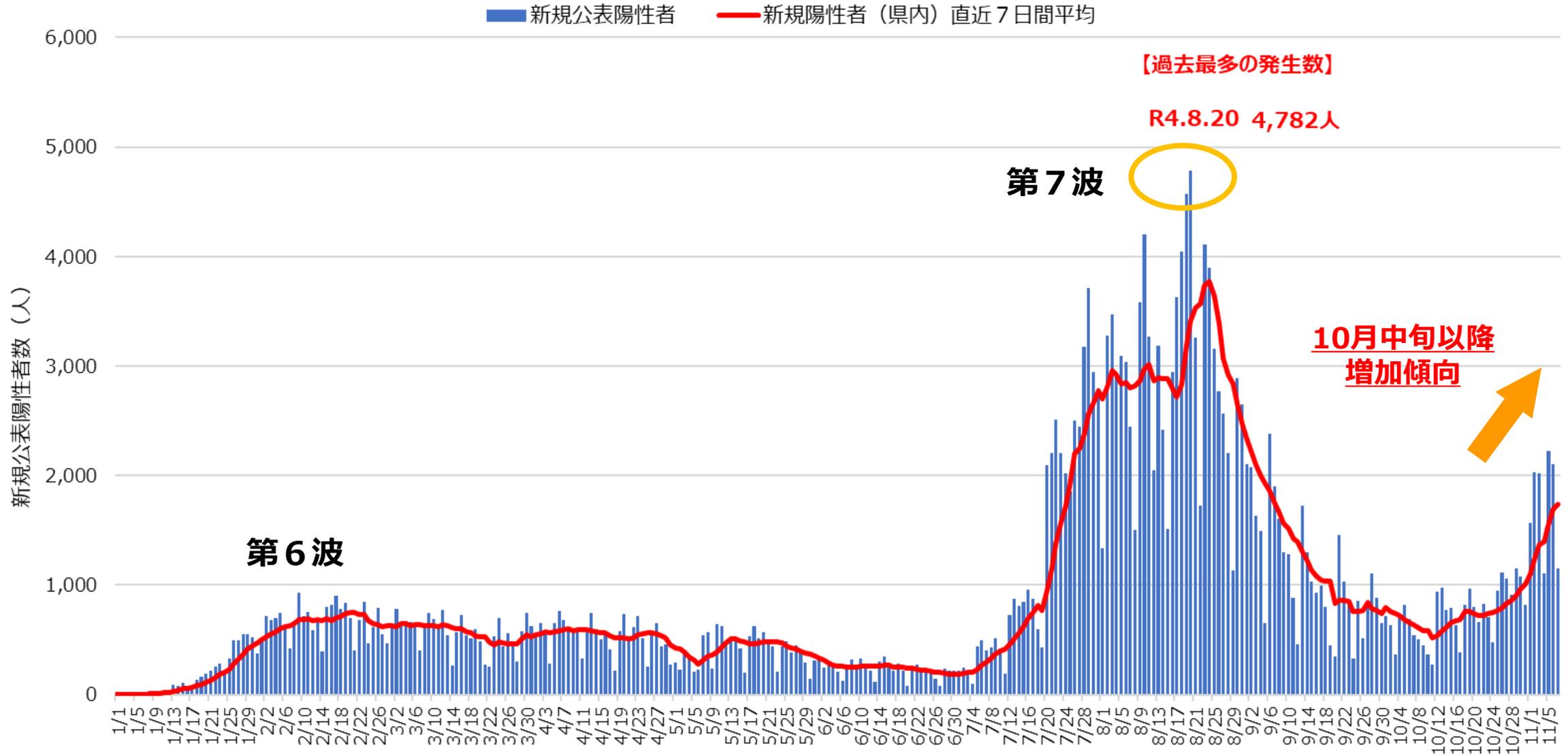


新型コロナウイルス感染再拡大に備えた対策と 県民の皆様へのお願いについて

- 県内新規公表陽性者数の推移
- 県内新規公表陽性者の年代別割合
／県内のワクチン接種の状況
- 新型コロナウイルス感染症の現状・課題及び対応策
- 県民の皆様へのお願い

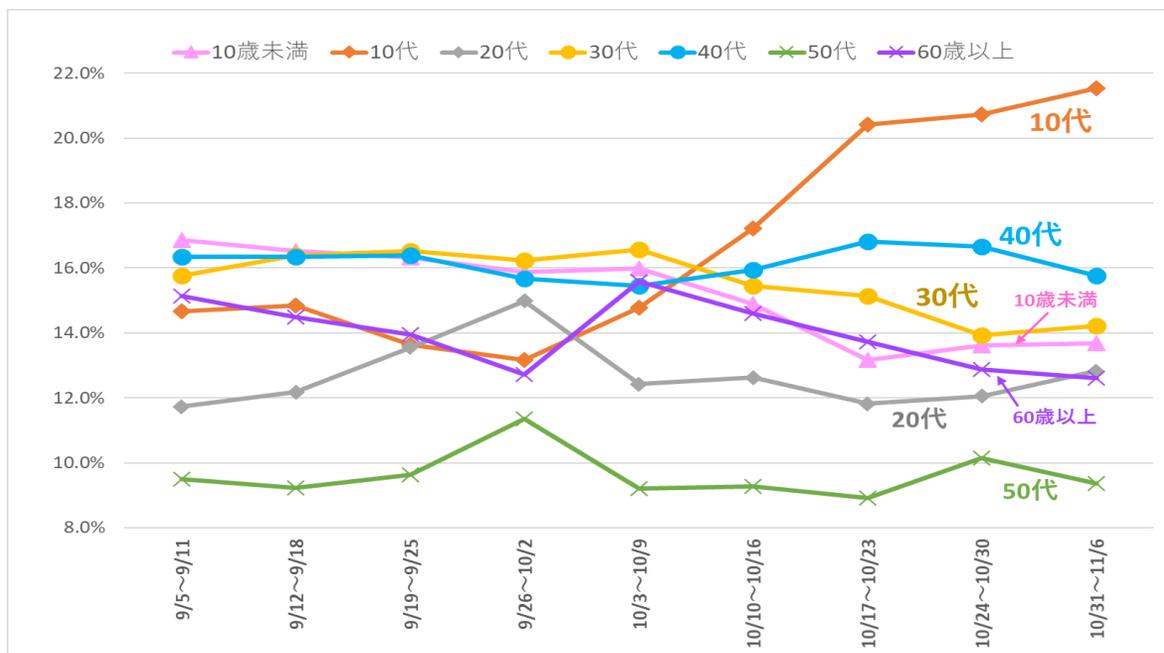
疾病・感染症対策課
担当：平間（211-2632）
新型コロナ調整室
担当：齋藤（211-2354）
新型コロナワクチン接種推進室
担当：千葉（211-2806）

県内新規公表陽性者数の推移



県内新規公表陽性者の年代別割合／県内のワクチン接種の状況

「10代」の割合が大きく、「20代」・「30代」の割合が増加傾向



令和4年11月7日時点

感染拡大の要因について

- ・寒さのため、換気が不十分な場面が見られること
- ・接種から時間が経過し、ワクチンの効果が低下していることが要因と推測。

現在実施中のワクチン接種は、3回目の接種率が低かった若年層をはじめ、全体的に進捗が低調

従来型ワクチンの3回目接種率

R4.11.10時点

年代	人口	3回目接種	
		接種人数	接種率
12～19歳	161,329	77,133	47.8%
20代	222,749	126,433	56.8%
30代	260,664	153,302	58.8%
40代	326,630	223,402	68.4%
50代	295,591	239,005	80.9%
60歳以上	793,505	727,372	91.7%
計	2,060,468	1,546,647	75.1%

現在実施中の

オミクロン株対応ワクチンの接種率

R4.11.10時点

接種対象者数	接種者数	接種率
1,847,030	174,998	9.5%

新型コロナウイルス感染症の現状・課題及び対応策

- 第7波における急激な患者の増加に伴い、**診療・検査医療機関等にひっ迫が生じた。**
それを受けて、**医療機関の受診に代わる陽性者登録の仕組み**や**発生届の限定**などの**負担軽減策の導入**を経て、現在、医療機関の負担は一定程度軽減されている状況。
→ しかし、10月中旬以降、新規公表陽性者数が増加傾向にあることに加え、**新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行の可能性**も懸念されており、引き続き**感染拡大への警戒が必要**

自己検査や無料検査の活用推進

- ・ 医療機関等の負担軽減のため、引き続き、重症化リスクが低い軽度の有症状者の自己検査及び感染不安を抱える無症状者の無料検査について活用を推進
- ・ 陽性者サポートセンターによる検査キットの配送

医療提供体制整備・陽性者へのサポート

- ・ 入院病床の確保
- ・ 宿泊療養体制の確保
- ・ 自宅療養者への健康観察や相談対応等の継続

追加対応策

大規模接種センターを再開

- ・ ワクチン接種の更なる促進のため、**大規模接種センターを再開**（**BA.4/5対応ワクチン、夜間接種対応**）
※居住地(県外を含む)に関わらず、県内に通勤や通学をしている方等にも対応
※12月からの再開に向けて、関係者等と協議中

診療・検査医療機関（発熱外来）の拡充

- ・ 感染拡大時に多くの発熱患者等に対応するため、**診療・検査医療機関の新規指定に向けた協力を要請**（医療機関に対する制度の説明や、感染対策の周知など）

県民の皆様へのお願い

- **基本的な感染対策を徹底**しましょう。



- できるだけ**早期のワクチンを接種**をお願いします。

- **感染に備えて事前に準備**しましょう。

- ・ 感染に備えて、**市販薬や抗原定性検査キット、食品、日用品などを準備**しておきましょう。
- ・ 発熱などの**症状が現れたときの対応について、事前に確認**しておきましょう。

▶ **重症化リスクが高い方** ⇒ **速やかにかかりつけ医など、お近くの医療機関に電話で相談**

(65歳以上、妊婦、基礎疾患のある方)

▶ **上記以外の方** (重症化リスクの低い方) ⇒ **自己検査 (抗原定性検査キット) の活用をご検討ください**

ただし、症状が重い場合には、速やかにかかりつけ医など、お近くの医療機関に電話でご相談ください